

お取引先各位

2018 年 4 月 1 日

株式会社マルホン

本 社 〒 434-0013 静岡県浜松市浜北区永島 1295

TEL : 053-587-0711 FAX : 053-587-2339

東京支店 〒 163-1020 東京都新宿区西新宿 3 丁目 7-1

新宿パークタワー 20F

TEL : 03-3347-0711 FAX : 03-3347-0811

「木材見本帖 第七号」訂正のお知らせとお詫び

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016 年 11 月 14 日発行の「木材見本帖 第七号」において、記載内容に一部誤りがございましたので、下記の通り訂正をさせていただきます。

皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

敬具

記

・ 22 ページ フローリング インデックス

(誤) リングア [桎目] 040

(正) リングア [桎目] 037

・ 209 ページ 青森ヒバ (品番 : PAH05-123、PAH06-123)

(誤) グレード : 無節小節

(正) グレード : 上小節

・ 210 ページ ヘムロック [桎目 / リブ]

(誤) 本実 (PHL04)



本実 (PHL05)



本実 (PHL06)



本実 (PHL07)



(正) 本実 (PHL04)



本実 (PHL05)



本実 (PHL06)



本実 (PHL07)



・ 230 ページ 脚サイズ表

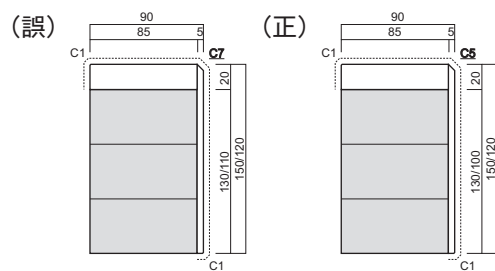
(誤)

品番	巾	サイズ (mm)	
		厚み	高さ
ATL-001	800	34	676
ATL-002	700	<u>50</u>	676
ATL-003	800	30	676
ATL-004	700	<u>30</u>	676

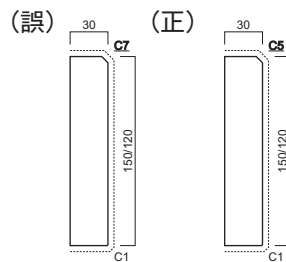
(正)

品番	巾	サイズ (mm)	
		厚み	高さ
ATL-001	800	34	676
ATL-002	700	<u>30</u>	676
ATL-003	800	30	676
ATL-004	700	<u>50</u>	676

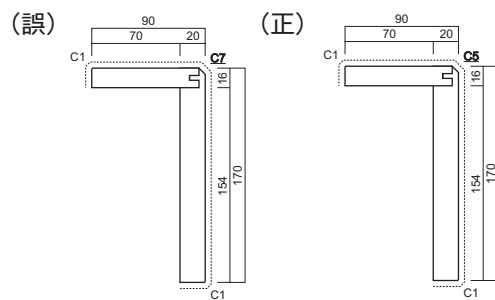
・ 233 ページ 挽板框 断面図



付框 A 断面図



リフォーム框 断面図



*見本帖掲載のリフォーム框は既存框（90mm × 150mm）対応の
15mm 厚フローリング用商品です。その他のサイズも製作可能です。

・ 261 ページ 施工説明書 8. 階段手すりの施工方法について

図を多数追加しました。

別紙「8.階段手すりの施工方法について」に差し替えいただきますようお願い申し上げます。

・ 274 ページ 無塗装品一覧 フローリング ウォールナット

(誤) FWN35 27,000 円 / m²

(正) FWN35 29,000 円 / m²

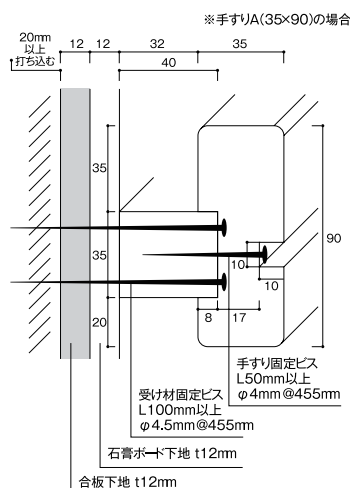
以上

8.階段手すりの施工方法について

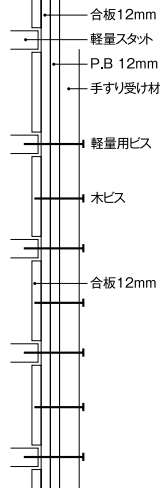
(1) 受け材を固定(柱・間柱ピッチ455mmの場合)

- ビスは長さ100mm以上、径4.5mm以上のものを使用してください。
- 受け材厚40mm+石膏ボード下地12mm+合板下地12mm+柱
間柱及び柱には、ビスを20mm以上打ち込んでください(LGS(軽量鉄骨)工法の場合は、スタートに軽量用ビスを打ち込んだ上で、スタート間についても12mm合板を二重張りし、木ビスを打ち込んで固定してください)。(図i-1,2,3参照)
- 下地の間柱及び柱までの距離を加味してビスの長さを選択してください。ビスは工法に合ったものを選択してください。
- ビス止めのピッチは間柱及び柱の間隔455mmに打ち込んでください(LGSの場合、スタート間にもビスを打ち込むため、ビス止めのピッチは150mmとなります)。(図ii-1,2,3参照)但しスタート・エンドからの1本目は、100mm以内に打ち込みを行ってください(スタート・エンドの100mm以内の場所に下地(柱・間柱・スタート)がない場合は、12mm合板を二重張りして下地を確保してください)。(図iii-1,2参照)
- 施工時は、必ず下穴をあけてからビスを打ち込んでください。ビスは1カ所につき2本打ち込み、固定してください(径4.5mmのビスを使用する場合は、受け材と壁下地の間に隙間が発生することを防ぐため、受け材のみに5.0mmまたは5.5mmの下穴をあけてください)。

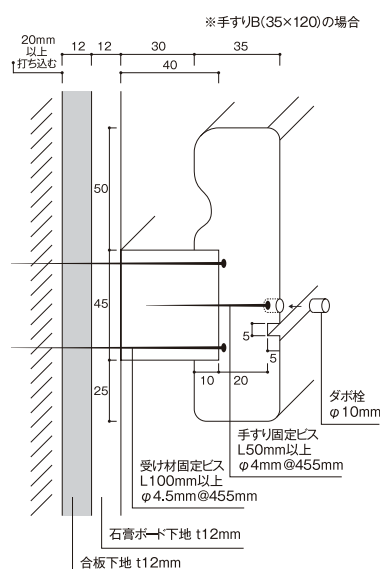
図i-1



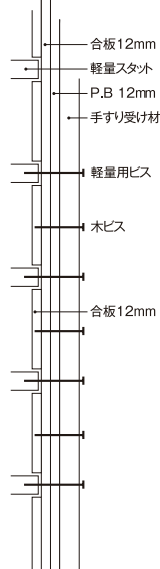
図ii-1



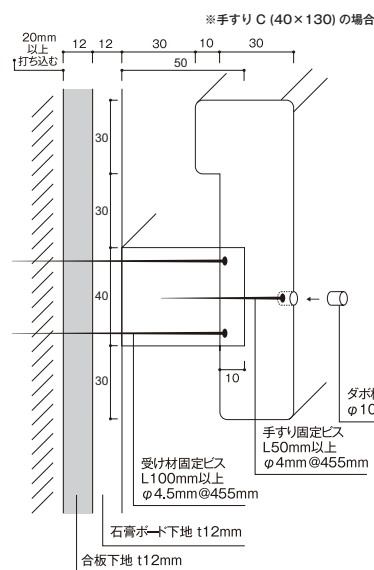
図i-2



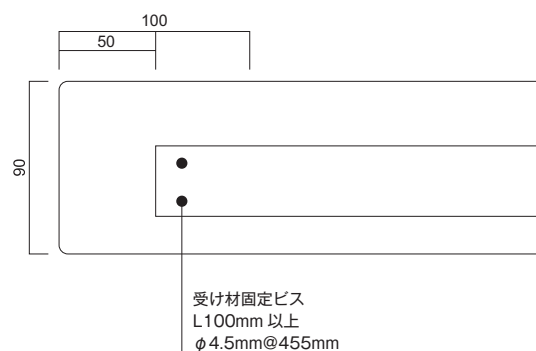
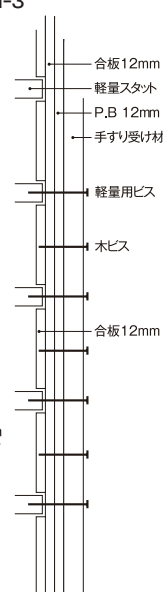
図ii-2



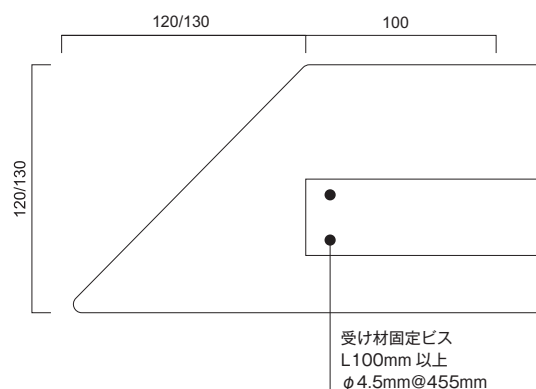
図i-3



図ii-3



図iii-2 ※手すりB/Cの場合



(2) 手すりを固定

- 受け材に手すりを固定する際は、接着剤とビスを併用してください。接着剤は、ウレタン樹脂製が望ましいですが、微発泡し、はみ出す場合がありますので注意してください。
- 手すりに深さ10mmのスリットを入れた場合、ビスは長さ50mm以上、径4mm以上のものを使用してください(手すり厚25mm+受け材厚40mm)。
- ビス止めのピッチは455mm以内で打ち込んでください。ただしスタート・エンドからの1本目は、100mm以内に打ち込みをしてください。
- 施工時は、必ず下穴をあけてからビスを打ち込んでください(径4mmのビスを使用する場合は、手すりと受け材に対して3.5mmの下穴をあけてください)。